

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第160号 2018年3月

# やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会  
 ㊟220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内  
 ☎045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)

## 定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

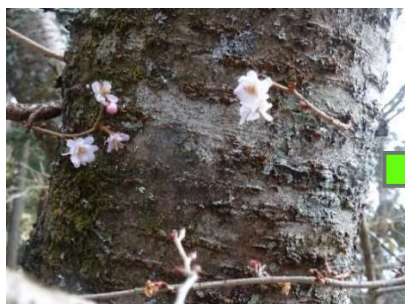
## 「やどりき水源林」の上流の2月



左の写真は雨山峠まで100mの地点(地図上の星印)  
 正面は崖ですが、この辺りは標識がしっかり付けられています

### ◎2月の寄沢を遡る

「やどりき水源林」は、西丹沢の檜岳～雨山～鍋割山～栗ノ木洞といった山々に囲まれた寄沢を中心としたエリア。春間近の2月中旬に水源林の上流の姿を追って、水源林の最高峰 鍋割山まで歩いてみました。



寄大橋(標高413m) ここから出発  
 この時期、唯一花をつけている  
 ジュウガツザクラが見られます



堰堤を過ぎると寄沢の河原  
 ここから、何度か沢を渡渉します  
 この辺りでは雪は消えています



上流に行くとザレ場(崩壊地)



春沢の源流域には氷



普段は涸れ沢となっている源流域



雨山峠(標高956m) 右奥が鍋割山



雨山峠近くのブナ 正面は塔ノ岳



更に進むと雪の平坦地



やどりき水源林の周りの最高峰 鍋割山 山頂(標高1,272m)

ご注意!

「森の案内人」をしていると、「ここからユースンに行けますか？」と訊かれることがときどきあります。全く行けないわけではありませんが、ここからは河原を歩いたり、沢を幾度か渡渉したり、ザレ場あり、標高1,000m近くの雨山峠を越えたり・往復だけで最低7時間はかかる1日コースです。従って、経験者向けで、山歩きの装備、暗くなる前に戻れる体力・時間の余裕が必要です。また、雨山峠～鍋割山も、鎖のある急峻な痩せ尾根がありますので、こちらも経験者向けです。

◎「林道コース」の冬芽

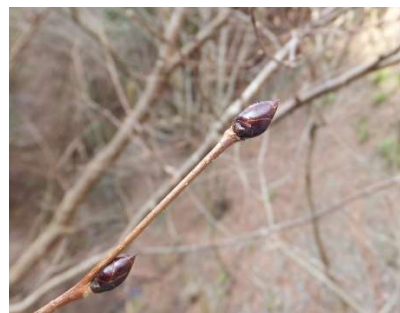
春を待ちわびる樹木の小さな芽、それが冬芽です。樹木には、葉や花、樹肌などそれぞれ特徴がありますが、冬芽にも個性豊かな特徴があります。ただ、冬芽は高い頭上にあつたり、枝先が細かつたりして、肉眼ではなかなか見えません。そんな中で、「林道コース」で肉眼でも比較的容易に確認できる冬芽をいくつか紹介します。



<ウリノキ>



<ミツマタ 花芽と葉芽>



<フサザクラ>

3月のトピックスと4月の水源林

毎週土・日曜の午前・午後の「定例観察会」も3月から再開しました。また、3月17日(土)には、群生するミツマタの開花を観察する恒例の「やどいきの森へ行こう!」が開催されます。4月になると、モトーンに近かった水源林も様々な色彩を帯びてきます。しかし、まだ寒さは残るので、暖かい服装でお出かけください。  
●1頁目の地図は『カシミール3D』で作成しています

アカネスミレ

